



樹木や花があるからこそ、冬枯れも落葉も映えます！ 12月4日(火) ほか



校内あちこちを植物が彩る開成南小学校ですが、主に園芸委員会の児童が中心になり、苗植え作業から手入れ、灌水等を行って来ています。

今年度もグラウンド周辺部の植樹や植栽、剪定でお世話になっている「進和学園」及び「研進」さんが、“プロの技”を見せてくれました。剪定や刈り払い、マウンド及び畝づくり、敷き藁の設置等、植生のお膳立てを園芸委員会の活動前に行っていただき、植樹活動と一緒に実施しました。

また例年、校舎周辺花壇の植栽を行い、無機質なコンクリート壁とのコントラストを楽しんでいます。今年度は、神奈川県公園協会さんの地域緑化活動支援事業に応募して苗をいただき、11月中旬の委員会の活動で、

①「撫子」、②「三色堇」、③「紫羅蘭花」

の三種類の草花を校舎東側の花壇に植えました。様々な方々に協力いただいておりますが、おかげで、冬から春に毎年違う草花を愛でることが出来ます。今年植栽した草花は、比較的寒さに強い品種であり、モノトーンが多いこれからの季節に、学校を彩ってくれることでしょう。

さらに、三連休の前日には、吉田島高等学校から②「三色堇」のポット苗をいただき、ふれあいタイムを活用しての委員会作業として、鉢への植栽作業を行いました。高校の専門の先生から移植のコツをうかがったり、手際よく鉢に植え替えたりと、児童の委員たちの活躍ぶりが、たいへんよくうかがえました。このきれいな鉢は、3月の卒業式の時に、巣立つ卒業生たちの足下に文字通り“花を添え”てくれます。

そして、12月4日(火)の朝会では、園芸委員会の活動の様子やクイズ、今年度から校内に置いているポトスや折鶴蘭の増やし方の紹介などを発表しました。

「花を愛する人は、心広き人」です。活動お疲れさま…。来年も美しくステキな開成南小学校であり続けますように！



①「撫子」=ナデシコ ②「三色堇」=パンジー ③「紫羅蘭花」=ストック (ちなみに「シクラメン」の和名は“豚の頭”！)

平成最後の充実した冬に！ 冬休み 前の学級懇談会 12月13日(木)

今年最後の学級懇談会を13日(木)に開催しました。学年や学級の懇談において、学校行事を振り返ったり、冬休み中の生活や学校及び家での様子の情報交換、望ましい集団生活や友達との関わり、SNSトラブル、金銭管理等について意見共有をしたりなど、有意義な時間となりました。

冬休み期間や3学期は、おそらくあっという間に過ぎてしまうことでしょう。4月には開成南小学校も10年目を迎えます。新年や新年度へ向けての新たな進路や新たな決意などへの準備を始めたいところです。

「一年の計は元旦にあり！」大きな志を培うべく、年末年始を感慨や思いで深く過ごして下さい。成長や進化を期待しています。よいお年を！！



※全国学力学習状況調査の結果分析では、解答の仕方では「途中まではわかるけど、最後までわからないから無回答 or 無記入」の傾向もうかがえました。来年は何事も、“うまくいかなくても、とりあえずやってみよう！”というような志が高まるといいですね。切替える年、何事も積極的に！



さわやかな汗と笑顔 全校ドッジボール大会

11月27日(火)

さわやかな秋(冬?)空の下、今年も恒例となっている体育委員会主催の全校ドッジボール大会を行いました。校庭に作られた14面のコートで、一斉に試合を行う様子は圧巻です。開成南小の学校規模の大きさが一目瞭然です。

体育委員会としては

- これから向かう冬の寒空の下でも、休み時間などには元気よく外へ出て遊んでほしい。
- 普段から使っているボールの面白さや有り難さに気が、用具や道具を大切に使ってほしい。
- クラスの団結やゲーム(試合)の面白さに加え、勝敗にこだわらない寛容さや健闘を称え合う心などを味わってほしい。



などの込めた思いも多くあったと思われませんが、期待通り和気あいあいと楽しめたひとときでした。



「ドッジボール(DODGE BALL)」



って?

- 「ドッジ=DODGE」とは“身をかわす”という意味です。元々は、いわゆる「内野」が、ボールをキャッチしてもよいルールさえありませんでした。アタック(=攻撃)が苦手でも、逃げ回ってボールから“身をかわす”ことで、チームに十分な貢献ができます。校内の大会もこの要素が濃いものです。
- 遊びやレクリエーションではない、公式競技としてのドッジボールのルールには、
 - 終了時に内野の多いチームが勝ち。
 - 一チームは12名の出場です。
 - 試合時間は5分or内野がいなくなるまで。
 - パスは4回まで。
 - ボールを取ってから5秒以内に投げる。
 - 試合開始時の外野は1名以上ならばよい。

などがあります。5分間という限られた時間の中で、自チームの攻撃時間をどのように増やして時間を費やし進めるのかが勝利へのカギという、頭脳派のスポーツ競技です。

県「いのちの授業」大賞 神奈川県PTA協議会会長賞 受賞 12月9日(日)

神奈川県



授業の感動をふたたび!! 第6回「いのちの授業」大賞表彰式

神奈川県では、子どもたちに「いのちを大切にすることを目標に『いのちの授業』感動作文を募集しました。表彰式では優秀な作品を表彰し、受賞者による作文朗読、授業紹介などを行います。



神奈川県PTA協議会会長賞 受賞者による作文朗読、授業紹介などを行います。

平成30年 12月9日(日)

12:30~14:30

(受付は12:00から)

あーすびらざ プラザホール

(〒220008)

※ 敬称略(本報台紙) 下 送札出て徒歩5分

■ どなたでも参加可能です

■ 事前にお申込ください



本校の第1学年、赤瀬美凜さんの作文「一しゅうかんだけのペット」が、神奈川県第6回「いのちの授業」大賞において、「神奈川県PTA協議会会長賞」に選出され、この度、表彰式がありました。

ふだんの学校生活や授業で、いのちの大切さについて、全校で指導を展開していますが、教育活動や子供たちの成長ぶりが、このような形で幅広く認められたことを光栄に思います。

平成最後の年末に、たいへん晴れがましく素敵な話題となりました。

受賞、おめでとうございます。



第6回「いのちの授業」大賞表彰式



季節のたより

日本だけでなく、アイスランドやニュージーランド、ポルトガルなどにも温泉はあるようですが、“温泉は日本古来の文化”ということとを冬のこの時期は特に強く感じます。元々、禊好きな日本人は、その風土や慣習から水浴びや湯浴みを好み、“きれいさっぱりするなら水よりもお湯の方が気持ちよい”という至極単純な理由で、古来より温泉を愛するようになったという説もあるようです。

体の表面の汚れをシャワーによって洗い流すのではなく、心の汚れまで全身を隅々まで洗い清める日本の“浸(つ)かる”文化として発展し、心身を癒し万病に効き、さらに浮世をも忘れさせてくれる効能にまで昇華してきたと考えられます。

ご多分に漏れず私も温泉が好きであり、特に硫化水素泉の温泉は白色で臭いも強めですが、視覚も嗅覚も“身体の芯まで浸かった”と実感できる気がして大好きです。もちろん、近場の箱根などは世界や全国に誇るべき温泉を有する最高級のリゾートだと感じています。

喫緊課題の冬休みの日ごとのスケジュールを、本格的に確定させます。(担当)



※ 12/29(土)~1/3(木)の学校に関する緊急連絡等は、町役場日直〔0465-83-2331〕までお願いします。良いお年をお迎えください!